

# 働き方改革

日本リーテック株式会社  
西川 雅高

株式会社 Office May の福嶋様よりリレーを引き継ぎました、日本リーテック株式会社の西川と申します。日頃よりお世話になっている福嶋様から指名をいただきましたので、お引き受け致しました。拙い文章ではございますが、少しでも名前を覚えていただければ幸いです。どうぞ最後までお読みいただければと思います。

まずは自己紹介から申し上げます。私は長崎県国見町出身で、幼い頃からサッカーを始め、小・中・高・大学・社会人と全てのカテゴリーで主将を務めてきました。様々な経験を積み、そこで培ってきたことが現在の私の基盤となっております。

折角の機会なので、日本リーテック株式会社という会社を少しだけ紹介させていただきます。弊社は16年前に旧千歳電気工業と旧保安工業が合併して誕生致しました。両社が半世紀以上にわたって積み上げてきた技術力とノウハウを活かし、多様な事業領域への可能性を追求し、鉄道、道路、送電線、各施設の電気設備など全国のインフラを支える総合電気工事会社として、広く社会基盤の構築に貢献させていただいております。

私は23年前に旧千歳電気工業に入社し、電気設備業界の営業マン人生がスタートしました。社会人としてのマナー・ルールや営業マンとしての基本を学び、その後 数年間は設計、積算業務を経験し、新築・改修工事に携わり、現場の勉強を終えて現在の営業職に戻りました。様々な経験を活かしつつ日々の営業活動を行っておりますが、真のプロになるにはまだまだ道半ばといったところです。これまでに会うことができた皆様やこれから会う方々とのご縁を大切に、仕事を楽しみ、ポジティブに取り組みながら日々成長していきたいと考えておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、私は現在、協会の後継者育成委員会に属しております。(私はあまり力になれておりませんが…) 文字通り、設備設計者などの若手の後継者育成のため、学生向けのインターン、メーカー様の見学会、資格取得の講習会など、人材確保、人材育成という重要なテーマに取り組んでおります。

設備設計業界に限らず、私が所属する建設業界も深刻な人手不足となっております。現在、業界を取り巻く環境として、明らかに需要が供給を上回っている状態であり、将来に向けてその差は広がることが予測されます。「人」を確保することができれば成長する産業だと思えます。ただし、自助努力だけでは限界があるため、業界全体で共助し合いながら多様な人材が“いきいきと”活躍する魅力と活気あふれる建設業界を目指す必要があると考えております。

ここでようやくお題の「は」の出番ですが、定着しつつある「働き方改革」というフレーズが出てきます。(なかなか「は」から始まる言葉がなくて…)

一昔前、建設業は3K「きつい」、「汚い」、「危険」とも言われてきましたが、現在は新4Kをスローガンに掲げ、従来の建設業界のネガティブなイメージを一新し、働きやすく魅力的な職場環境を作るための改革に取り組んでおります。

新4Kとは①給料が良い、②休暇が取れる、③希望が持てる、④カッコイイの4つです。

- 一 給料を良くするためには、処遇改善、請負契約の透明化(適正価格の確保)などの取り組みが必要です。
- 一 休暇を取りやすくするためには、4週8休の浸透度を高め、休暇を取るための心構えを持ち、しっかり主張し、課題解決のために他の組織とも連携することが重要です。
- 一 希望を持ってもらうためには、育成事業(実技講習会など)を充実させること、登録基幹技能者の制度管理、高校、大学等サイドの教師、指導者とのコミュニケーション、各種発信による女性活躍の推進、外国人技能労働者受け入れを積極的に行うことが必要です。
- 一 カッコイイと思われるためには、業界及び職種に対するイメージを払拭するために全体でのリ・ブランディングが重要で、学生が入ってきやすい環境作りや選択肢をもってもらえるような活動を行うことが必要です。認知度や好感度を上げるための施策、SNSの活用など子供をターゲットとした取り組みも行っていくことが求められます。

建設業は社会インフラを支え続け、国民が生活する上で強い使命感を持って取り組んでおり、災害復旧などのアクシデントにも緊急対応するなど、欠かさない業界であることは間違いありません。魅力ある産業となるように新4Kを確立するため、私自身も努力していきたいと考えております。

次のリレー放談は、株式会社川本製作所の彦坂あゆみ様にお繋ぎして、締めさせていただきます。お時間を割いてお読みいただき、誠にありがとうございました。